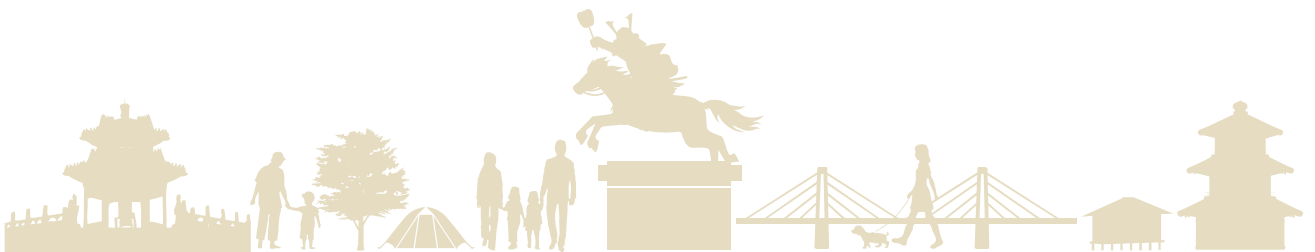


資料編



1 成果指標の説明

実感指数 市民アンケート調査において市民の実感から成果を測る指標

客観指数 統計データ等から客観的に成果を測る指標

産業と経済

政策分野 1 豊富な資源を生かした産業づくり


人が集まる魅力のあるまち

施策 1 関係人口の拡大

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
客観 指標	菊池ファンク ラブ会員数	922人	10,000人	菊池ファンを増やすことで、関係人口の促進につなげる。毎年約1,800人増を目指す。
客観 指標	ふるさと納税 の寄附件数	5,837 件/年	52,300 件/年	返礼品が充実（＝寄附者の満足度向上）することで、菊池ファン増加につなげる。令和7年度の寄附総額10億円を目標とし、平均寄附金額で除した件数を目標値とする。

地域資源を生かした観光のまち

施策 2 観光の振興

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	市外の人を連れて行きたく なる観光地や イベントが充 実していると 感じている市 民の割合	29.4%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	観光入込客数	2,564,254 人/年	3,820,000 人/年	観光入込客数を増やし、観光業の振興を図る。熊本地震・新型コロナの影響が少ない直近3箇年（平成27年度・平成30年度・令和元年度）の平均伸び率を5年分乗じた数値を目標値とする。

客観指標	宿泊者数	79,904人/年	180,000人/年	宿泊者数を増やし、観光業の振興を図る。新型コロナ流行前の令和元年度実績数175,613人を超える数値を目標とする。
------	------	-----------	------------	---

未来につなげる農業のまち

施策3 農業の振興

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感指数	地域特性を生かした安全で高品質な農林畜産物が生産されていると感じている市民の割合	64.3%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観指標	新規就農者数	19人/年	20人/年	新規就農者を増やすことで、基幹産業である農業基盤を強化する。農業後継者を育成するため、毎年20人の新規就農を目指す。
客観指標	地域営農組織の法人化数	12件	15件	集落営農等の法人化は、組織による農地の集積や集約化など生産方法の効率化や所得の向上につながる。令和3年度から令和7年度の5年間で3組織（2年に1組織の増加）の増加を目指す。
客観指標	「菊池基準」に登録された生産者数	564人	800人	「菊池基準」に登録された生産者数を増やし、環境王国としての確立を図り有機農業の推進につなげる。農業就業人口の約3割に登録目標に毎年約50人の増加を目指す。
客観指標	各物産館における「菊池基準」登録の農林畜産物の販売額	4,500万円/年	8,000万円/年	菊池基準登録の農林畜産物の販売額が増加することで、農家所得の向上につなげる。各物産館で取り扱う菊池基準登録の農林畜産物の販売額で、毎年約12%の増額を目指す。

施策 4 畜産業の振興

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	地域特性を生かした安全で高品質な農林畜産物が生産されていると感じている市民の割合	施策3「農業の振興」において検証する。		
客観 指標	肉用繁殖牛の飼養頭数	5,960頭	6,500頭	肉用繁殖牛の飼養頭数を増やし、畜産業の振興を図る。毎年約100頭の増加を目指す。
客観 指標	畜産農家の法人化数	92件	100件	畜産農家の法人化数を増やし、畜産業の振興度を図る。毎年1～2件の増加を目指す。

施策 5 林業の振興

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	地域特性を生かした安全で高品質な農林畜産物が生産されていると感じている市民の割合	施策3「農業の振興」において検証する。		
客観 指標	森林経営計画の策定面積	7,483ha	7,618ha	森林経営計画に沿った間伐等を推進することで、林業の振興を図る。令和2年度の実績を踏まえ、令和7年度までに135ha増を目指す。

活力ある商工業のまち

施策 6 商工業の振興


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	商工業に活気 があると感じ ている市民の 割合	8.1%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	創業支援者の うち創業件数	7件/年	10件/年	創業支援者の創業件数を増やし、商業振興、賑わいの創出を図る。令和2年度の実績を踏まえ、毎年10件の創業を目指す。
客観 指標	市内3高校から 市内事業所 への就職者数	30人/年	35人/年	定住促進に向けて、地元高校からの就職者数を増加させる。令和2年度の実績と今後の生徒数を考慮し、毎年35人の市内事業所への就職者を目指す。

子育てと健康福祉

政策分野 2 みんなで支え合う安心づくり

安心して子育てできるまち

施策 7 子育て支援の充実


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	子育てしやすい 環境が整っ ていると感じ ている市民の 割合	38.3%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	保育所待機児 童数	0人/年	0人/年	子育て支援体制を充実することで、継続して保育所待機児童ゼロを目指す。
客観 指標	病児・病後児 保育の受入率	92%	95%	子育て支援体制を充実することで、病児・病後児保育の受入率を伸ばす。1施設の増設計画を考慮し、目標値として3%の増加を目指す。 利用者数 ÷ (利用者数 + 断り件数)

健康で豊かに暮らし続けられるまち


施策 8 健康づくりと医療体制の充実

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感 指数	健康づくりの 取組に満足し ている市民の 割合	27.6%	↑			基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	特定健診の受 診率(3月末の 測定値)	31.8% (R1)	35.8%	—	—	国民健康保険被保険者の特定健診の受診率を伸ばし、良好な健康状態の維持と生活習慣の改善を図る。なお、令和2年度は新型コロナが大きく影響したため、基準値を令和元年度とする。毎年1%増を目指す。
客観 指標	大腸がん検診 受診率 (40歳～ 69歳)	10.9% (R1)	11.9%	7.7% (R1)	9.7% (R1)	男女ともに多い大腸がんの検診受診率を伸ばし、早期発見・早期治療につなげる。なお、令和2年度は新型コロナが大きく影響したため、基準値を令和元年度とする。毎年50人増を目指す。

施策 9 高齢者福祉の充実

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感 指数	高齢者福祉のサービスに満足している市民の割合	29.4%		/	/	基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	要介護（支援）認定率	19.4%	19.6%	18.8%	19.7%	要介護の認定率を維持することで、介護保険サービスを必要としない元気な高齢者を増やす。第8期介護保険事業計画の目標値を目指す。 第1号認定者数÷第1号被保険者数（65歳以上）×100
客観 指標	住民運営の通いの場箇所数	82箇所	100箇所	—	—	「いきいき百歳体操」などを実施する高齢者の通いの場を設置し、住民が主体となった介護予防に取組み、元気な高齢者を増やしていく。累計100箇所を目指す。


施策 10 障がい者（児）福祉の充実

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	障がい者福祉のサービスに満足している市民の割合	21.6%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	地域生活への移行（施設入所者数）	95人	93人	障がい者の自立を推進・支援することで、施設入所者数の減少につなげる。第6期菊池市障がい福祉計画の目標値を目指す。
客観 指標	就労移行支援事業所から一般就労へ移行する者の数	5人	7人	障がい者の自立を推進・支援することで、一般就労者数の増加につなげる。第6期菊池市障がい福祉計画の目標値を目指す。

施策 11 生活困窮世帯の自立支援

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
客観 指標	新規就労開始、 就労収入増加 につながった 世帯の割合	26%	30%	新規就労開始や就労収入の増加につながった世帯の割合を増やすことで、生活困窮者の自立につなげる。毎年1%増を目指す。 (新規就労開始者数+就労収入増加者数) ÷ 支援継続者数

施策 12 地域福祉の充実


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	地域における 支え合い活動 に満足してい る市民の割合	22.9%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	地域サロン立 ち上げ地区数	93区	118区	地域サロンを増やし、地域住民の交流や生きがいがづくり、仲間づくりの支援に寄与する。第3期地域福祉計画に基づく目標値に、現状の数値を考慮した数値とする。
客観 指標	小地域福祉活 動（モデル地 区）	36区	64区	小地域福祉活動の地区数を増やし、見守りや日常生活の支援など、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりの形成につなげる。第3期地域福祉計画に基づく目標値に、現状の数値を考慮した数値とする。

自然環境と暮らしの基盤


政策分野 3 自然の恵みを守り安全で魅力あるまちづくり

自然に優しい環境に配慮したまち

施策 13 脱炭素・循環型社会の実現


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感 指数	節水、ゴミの分別・減量化などの環境保全活動への取組に満足している市民の割合	42.2%				基準値は、令和2年度アンケート調査結果(各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	世帯当たりのごみ排出量	527 kg/年	498 kg/年	557 kg/年 (R1)	527 kg/年 (R1)	世帯当たりのごみ排出量を減らし、循環型社会・環境にやさしいまちを形成する。年間ごみ排出量(可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの合計)を目標年度である令和11年度までに、基準値より約10%を削減する。
客観 指標	リサイクル率	12.9%	14.2%	19.6% (R1)	20.7% (R1)	全体ごみ量のうち、再商品化及び再利用など再資源化する割合を高め、循環型社会・環境にやさしいまちを形成する。過去10年間における各年度の伸び率の平均値を目標値とする。(全体ごみ排出量のうち再商品化、または再利用などの再資源を行った場合に算出する割合)

施策 14 自然環境の保全

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	農地や森林の維持・保全への取組に満足している市民の割合	26.9%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	環境学習の実施	0校	10校	環境学習を実施し、小学校児童の環境意識の醸成につなげる。市内全ての小学校の実施を目指す。
客観 指標	経営管理権集積計画策定件数	0件	80件	森林環境譲与税を活用した新しい制度に取組み、放置森林の解消につなげる。

誰もが地域で交流できるまち

施策 15 魅力あるまちなか整備


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	まちなかに緑や公園（遊具等）があり、住みやすいと感じている市民の割合	34.6%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	緑化や美化活動を行うボランティアグループ数	15団体	20団体	市内で緑化や美化活動を行うボランティアグループ数を増やし、緑化や美化活動の意識を高める。毎年1団体増を目指す。
客観 指標	ガーデニングコンテスト応募件数	32件/年	50件/年	一家一花運動などを推進することで、応募件数増加につなげ、花と緑を通じて美しい景観を創出する。現状値の約1.5倍の件数を目指す。

みんなで作る安全安心なまち

施策 16 防災・消防体制の充実


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	防災訓練や消防団等の活動に満足している市民の割合	35.2%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	きくち防災・行政ナビ登録者数	7,059件	15,000件	普及率の高いスマホ等を利用したきくち防災・行政ナビは最も効果の高いツールであり、現在の中心的な情報伝達手段と位置付けている。毎年1,600件増を目指す。
客観 指標	防災士登録者数	187人	500人	自助・共助・公助の連携による地域防災力の向上を図る上で、地域の防災リーダーとしての役割を担う防災士の育成を推進する。全行政区（211区）から2名ずつ、及び消防団等からの登録を勧奨する。

施策 17 暮らしの安全対策の推進


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	治安が良く、安心して暮らせると感じている市民の割合	59.0%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	市内交通事故発生件数	81件/年	75件/年	市民の交通安全意識の高揚・啓発を推進することで、交通事故発生件数を抑制する。基準値による見込みを目標値とする。
客観 指標	市内刑法犯罪数	130件/年	125件/年	防犯活動の推進することで、刑法犯罪数を抑制する。基準値による見込みを目標値とする。

便利で快適に暮らせるまち

施策 18 良好な都市機能の形成

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	市街地や道路、 上下水道、商 業交流施設な どの住環境に 満足している 市民の割合	24.9%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	用途地域内の 宅地面積	190ha	191ha	用途地域内の宅地化（居住地の誘導）を促進することで、良好な都市機能を形成する。定住化促進事業の目標値。 最低敷地面積180㎡/件（県基準）×50件

施策 19 道路・交通体系の整備

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	路線バス・べ んりカー・あ いのりタク シーの公共交 通に満足して いる市民の割 合	16.8%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	べんりカー利 用者数	15,507 人/年	18,500 人/年	公共交通の利用者を増やすことで、市民が利用しやすい交通体系を確保することができる。新型コロナ流行前の平成29～令和元年度までの3箇年平均値を目標値とする。
客観 指標	あいのりタク シー利用者数	10,193 人/年	11,700 人/年	公共交通の利用者を増やすことで、市民が利用しやすい交通体系を確保することができる。新型コロナ流行前の平成29～令和元年度までの3箇年平均値を目標値とする。

施策 20 上下水道の整備


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感 指数	市街地や道路、 上下水道、商 業交流施設な どの住環境に 満足している 市民の割合	施策18「良好な都市機能の形成」において検証する。				
客観 指標	給水区域内の 水道普及率	88.7%	89.0%	—	—	給水区域内の水道普及に努め、水道事業の効率性及び収益性の向上を図る。新規加入数を毎年30人増を目指す。
客観 指標	有収率(水道)	84.5%	91.0%	89.9%	85.2%	年間の配水量に対する有収水量の割合を高め、水道事業の効率性及び収益性の向上を図る。漏水防止対策等により、約10万㎡の総配水量の減少を設定。 有収率(%) = (水道料金の基礎となる水量である有収水量 / 1年間の総配水量) × 100
客観 指標	下水道処理区 域内水洗化率	93.1%	95.0%	—	—	下水道加入者を増やすことで、河川的环境美化が期待できる。過去3箇年の向上率を基に、毎年約0.4%増を目指す。
客観 指標	合併浄化槽設 置数	2,304件	2,700件	—	—	単独浄化槽や汲み取り等から合併浄化槽への切替えを推進することで、河川的环境美化が期待できる。過去3箇年の向上率を基に、毎年約80件増を目指す。

教育と文化

政策分野 4 学び合いと地域が育む人づくり

質の高い学びが人を育てるまち

施策 21 学校教育の充実

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感 指数	小中学校の教育環境に満足している市民の割合	36.0%		—	—	基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	県学力学習状況調査（小学校）の目標値（県の目標値を50とした場合の換算値）	51.5	53.0	—	—	県学力学習状況調査（小学校）の目標値を高め、児童の学力向上を図る。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	県学力学習状況調査（中学校）の目標値（県の目標値を50とした場合の換算値）	46.4	50.0	—	—	県学力学習状況調査（中学校）の目標値を高め、生徒の学力向上を図る。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	図書館の月平均貸出数（小学校）	10.7冊	12冊	—	—	児童の幅広い読書の推進を通して読解力や語彙力の向上を図る。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	図書館の月平均貸出数（中学校）	3.6冊	5冊	—	—	生徒の幅広い読書の推進を通して読解力や語彙力の向上を図る。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	中学校卒業段階での英検3級相当取得率	15.1%	40.0%	25.1% (R1)	27.1% (R1)	英検3級相当取得率を上げることで、英語コミュニケーション能力の向上を図る。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。

施策 22 生涯学習の推進

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	子どもから大人までの学習環境に満足している市民の割合	25.4%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	生涯学習センター及び3分館への来館者数	139,390 人/年	260,000 人/年	施設利用者を増やし、学習機会の提供・利用者の交流を図る。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	地域学校協働活動の実施活動数	0件/年	300件/年	地域と学校が連携・協働した活動を実施することで、学校を核とした地域づくりにつながる。小中学校15校×年間20件を目標値とする。
客観 指標	キクロスカレッジの修了生数	0人	115人	キクロスカレッジの修了生数を増やすことで、地域の核となる人財を育成する。第3期菊池市教育振興基本計画に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	図書館の貸出冊数	302,852 冊/年	350,000 冊/年	図書館サービスの充実を図り、貸出冊数を増やす。毎年約10,000冊増を目指す。

施策 23 スポーツの推進

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	芸術文化やスポーツに親しむ機会に満足している市民の割合	17.8%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	総合型地域スポーツクラブ種目数	8種目	12種目	総合型地域スポーツクラブ種目を増やし、スポーツ人口の拡大推進を図る。令和3年度以降、毎年約1種団体増を目指す。
客観 指標	九州大会以上の主催スポーツイベント等の開催数	0回/年	3回/年	スポーツ大会の誘致を促進し、スポーツの活性化を図る。令和4年度以降、3大会の誘致を目標値とする。
客観 指標	各体育施設の利用者数	580,000人/年	650,000人/年	体育施設の利用者を増やし、スポーツ人口の拡大推進を図る。過去5年間で利用者が多かった平成27年度の実績値を目標値とする。


伝統や郷土を大切にすまち

施策 24 歴史文化の保存と継承


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	地域の文化遺産や伝統文化が保護・活用されていると感じている市民の割合	29.0%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	デジタルコンテンツデータ数	3,000点	5,000点	デジタルコンテンツデータを増やし、歴史文化にふれあう機会を創出する。毎年400点増を目指す。
客観 指標	学校への郷土学習実施校数	1校	7校	学校教育の場に伝統芸能を取り入れ、児童・生徒の郷土愛の醸成を図る。市内15小中学校の約半数を目指す。

人を大切にする思いやりのあるまち

施策 25 人権教育・啓発の推進

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	差別や人権問題への取組が充実していると感じている市民の割合	25.0%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	市人権同和教育研究大会の初参加者数	183人/年 (令和1)	250人/年	市人権同和教育研究大会の参加者のうち、初めて参加する方を増やし、人権教育についての理解を広げていく。なお、令和2年度は新型コロナが大きく影響したため、基準値を令和元年度とする。令和元年度参加者の参加券集計に基づいた数値を目標値とする。
客観 指標	ふるさと懇談会の参加者数	3,444人/4年 (令和1)	4,000人/4年	ふるさと懇談会の参加者数を増やすことで、共に考える場を地域住民に提供する。なお、令和2年度は新型コロナが大きく影響したため、基準値を令和元年度とする。ふるさと懇談会（3年で1巡）記録を集計し、直近4年間の合計値を目標値とする。

施策 26 男女共同参画社会の実現


成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感 指数	あらゆる分野に男女がともに参画していると感じている市民の割合	16.1%				基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	審議会等委員に占める女性の割合	30%	35%	42.3% (令和3年9月末)	39.4% (令和3年3月末)	女性委員の割合を増やすことで、政策・方針決定過程への女性の参画拡大を図り、多様な視点での意見を反映することができる。菊池市男女共同参画計画との整合性を確保した数値を目標値とする。
客観 指標	男女共同参画講座・研修等の参加者数	683人	800人	—	—	講座や研修等への参加を増やすことで、地域全体へ男女共同参画への理解を深めることができる。菊池市男女共同参画計画との整合性を確保した数値を目標値とする。

市政運営


政策分野 5 市民に分かりやすい健全な行財政運営

市民に寄り添う満足度の高いまち

施策 27 開かれた市政の推進

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感指数	市からの情報発信（広報紙、SNS等）が充実していると感じている市民の割合	41.0%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観指標	各種SNSのフォロワー等の数	15,489	18,000	公式アカウントから市内のイベント情報や旬の魅力を発信し、フォロワーの数を増やすことで、認知度の向上を図る。市公式Facebook(日本語・英語)、Twitter、Instagram等のフォロワー数を毎年約500件増を目指す。
客観指標	市長と語る会への新規参加者数（累計）	0	1,000	新規参加者を増やし、市民の市政運営に対する興味や関心を高める。対面方式、WEB方式で開催する市長と語る会への新規参加者数（累計）を毎年約20人の新規参加者数×10箇所を目標値とする。
客観指標	市ホームページの総ページビュー数	3,208,155 PV/年	6,300,000 PV/年	市ホームページのアクセス数を伸ばし、市民に市政運営やまちづくりへの興味・関心を促す。毎年約60万件増を目指す。

施策 28 効率的な行政運営

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	国平均	県平均	成果指標設定の考え方
実感指数	市職員の市民への対応に満足している市民の割合	30.5%				基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観指標	マイナンバーカード交付枚数率	19.6%	90.0%	28.3%	28.0%	マイナンバーカード交付枚数率を伸ばし、各種手続きに係る電子申請導入を推進する。市民の早期取得を促し、令和4年度までに交付枚数率約77%を目指す。令和5年度以降は、毎年約4%増の設定。

健全で効果的な財政運営のまち

施策 29 財政基盤の強化

成果指標名		基準値 (R2)	目標値 (R7)	成果指標設定の考え方
実感 指数	信頼される市政運営への取組に満足している市民の割合	19.7%		基準値は、令和2年度アンケート調査結果（各項目で「満足」「やや満足」と答えた人の割合）。4年後、同じ調査を実施し、満足度が上がるよう施策を推進する。
客観 指標	地方債現在高の縮減	334億円	305億円	地方債現在高の縮減することで、健全な市財政運営を図る。毎年約5億円の縮減を目指す。
客観 指標	保有施設数	226施設	184施設	インフラ系を除く保有施設数を減らし、健全な市財政運営を図る。個別施設計画第2期総括版での移管・削減シミュレーションの数値を目標値とする。
客観 指標	市税収納率 (現年度)	98.77%	99.2%	市税の現年度収納率を上げることで、健全な市財政運営を図る。県内市町村の徴収実績を参考に目標値を設定する。
客観 指標	全ての滞納市 債権の圧縮	980,212千円	754,000千円	滞納債権を圧縮することで、健全な市財政運営を図る。基準値に圧縮率（税0.8、税外0.7）を乗じた数値を目標値とする。
客観 指標	一筆地調査の 進捗状況	67.53%	73.54%	一筆地調査を推進することで、健全な市財政運営を図る。第7次国土調査十箇年計画に基づいた数値を目標値とする。

2 総合計画各施策とSDGsとの関係

政策分野	ありたい姿	施策	SDGs目標	
			1 	2 
1. 産業と経済 豊富な資源を生かした 産業づくり	(1)人が集まる魅力のあるまち	①関係人口の拡大		
	(2)地域資源を生かした観光のまち	②観光の振興		
	(3)未来につなげる農業のまち	③農業の振興		●
		④畜産業の振興		●
		⑤林業の振興		
(4)活力ある商工業のまち	⑥商工業の振興			
2. 子育てと 健康福祉 みんなで支え合う 安心づくり	(5)安心して子育てできるまち	⑦子育て支援の充実	●	
	(6)健康で豊かに暮らし続けられるまち	⑧健康づくりと医療体制の充実		
		⑨高齢者福祉の充実		
		⑩障がい者(児)福祉の充実		
		⑪生活困窮世帯の自立支援	●	
		⑫地域福祉の充実	●	
3. 自然環境と 暮らしの基盤 自然の恵みを守り安全で 魅力あるまちづくり	(7)自然に優しい環境に配慮したまち	⑬脱炭素・循環型社会の実現		
		⑭自然環境の保全		
	(8)誰もが地域で交流できるまち	⑮魅力あるまちなか整備		
	(9)みんなでつくる安全安心なまち	⑯防災・消防体制の充実	●	
		⑰暮らしの安全対策の推進		
	(10)便利で快適に暮らせるまち	⑱良好な都市機能の形成		
		⑲道路・交通体系の整備		
⑳上下水道の整備				
4. 教育と文化 学び合いと 地域が育む人づくり	(11)質の高い学びが人を育てるまち	㉑学校教育の充実	●	●
		㉒生涯学習の推進		
		㉓スポーツの推進		
	(12)伝統や郷土を大切にするまち	㉔歴史文化の保存と継承		
	(13)人を大切にする思いやりのあるまち	㉕人権教育・啓発の推進	●	
㉖男女共同参画社会の実現		●		
5. 市政運営 市民に分かりやすい 健全な行財政運営	(14)市民に寄り添う満足度の高いまち	㉗開かれた市政の推進		
		㉘効率的な行政運営	●	
	(15)健全で効果的な財政運営のまち	㉙財政基盤の強化		

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
●					●	●		●						●
	●				●									●
	●					●		●	●			●		●
	●			●				●	●	●				●
	●				●	●	●	●	●					●
●	●	●			●		●	●					●	●
●	●													●
●	●				●			●						●
●	●				●		●	●						●
●	●				●		●	●						●
●	●				●		●	●						●
●	●				●		●	●						●
●	●				●		●	●						●
●	●	●			●		●	●				●	●	●
●	●	●			●		●	●					●	●
					●		●	●						●
					●	●		●					●	●
							●						●	●

3 アンケート調査結果

(1) 市民意識調査の結果

①調査の概要

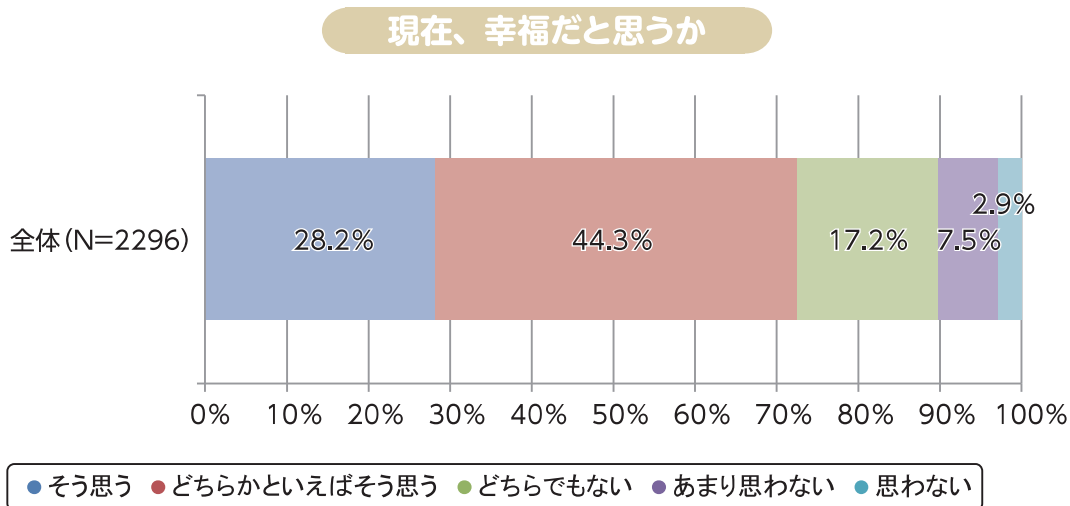
調査高校	菊池市全域
調査対象者	菊池市在住の18歳以上の方
調査期間	令和2年8月17日(月)～令和2年8月28日(金)
調査方法	郵送による発送・回収、インターネット調査の併用

【全体の配布数と有効回答数・回収率】

配布数 (A)	有効回答数 (B)	回収率 (B) / (A)
5,000	2,327	46.5%

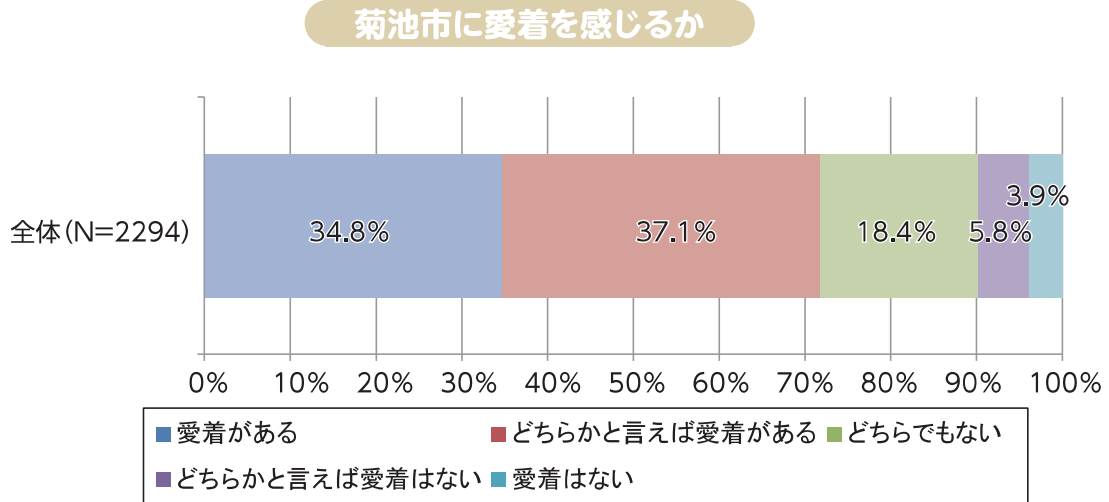
②幸福度について

現在、幸福だと思うかについてみると、「どちらかといえばそう思う」が44.3%と最も高く、次いで「そう思う」が28.2%となっており、「そう思う」(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)という回答が72.5%となっています。



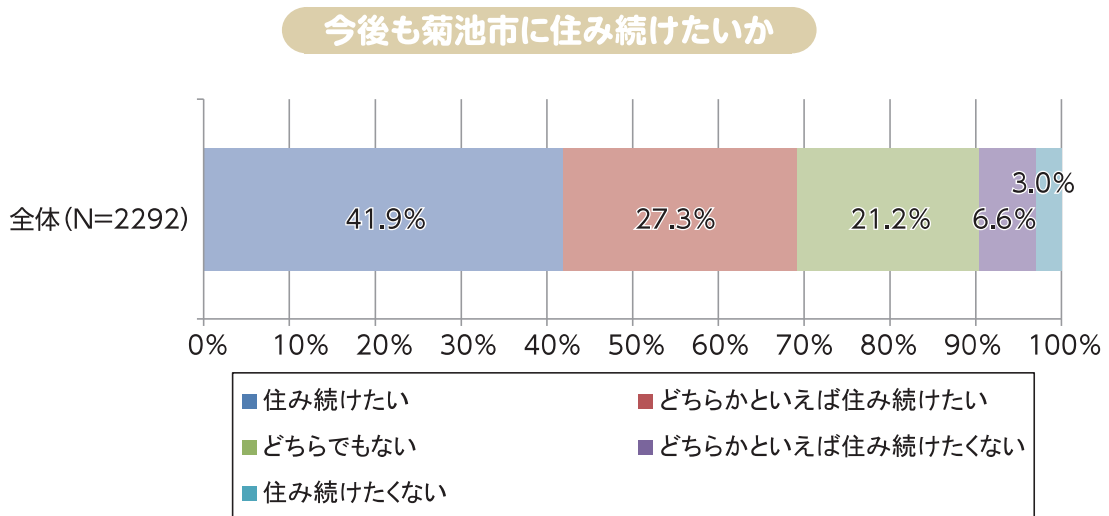
③郷土への愛着について

菊池市に愛着を感じているかについてみると、「どちらかといえば愛着がある」が37.1%と最も高く、次いで「愛着がある」が34.8%となっており、「愛着がある」（「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計）という回答が71.9%となっています。



④定住意思について

今後も菊池市に住み続けたいかについてみると、「住み続けたい」が41.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が27.3%となっており、「住み続けたい」（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）という回答が69.2%となっています。

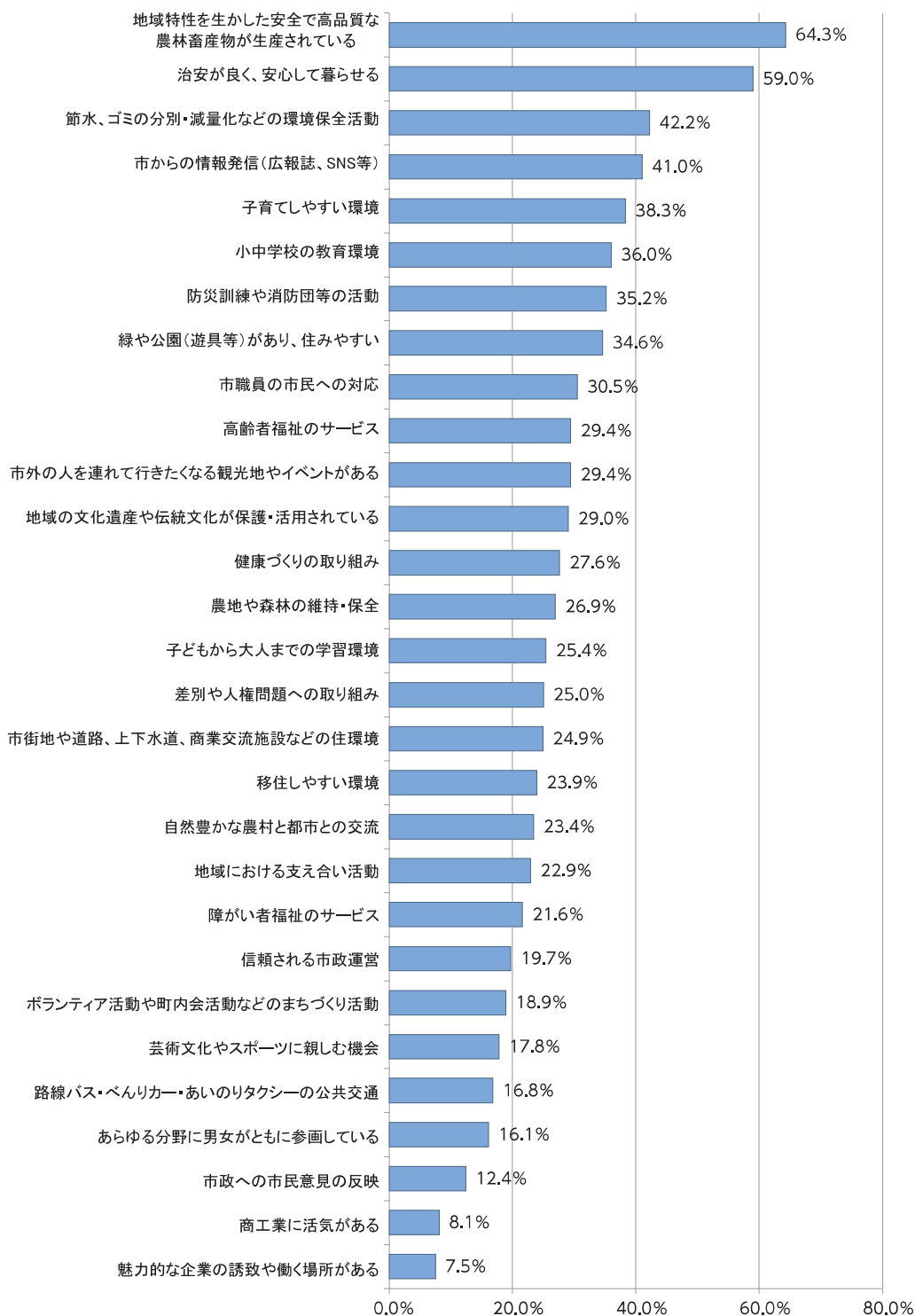


⑤市民生活やまちづくりに関する満足度

市民生活やまちづくりに関する項目の満足度※についてみると、「地域特性を生かした安全で高品質な農林畜産物が生産されている」が64.3%と最も高く、次いで「治安が良く、安心して暮らせる」が59.0%となっています。

(※)：満足度は、各項目に対して「満足」「まあ満足」と答えた人の割合より算出。

市民生活やまちづくりに関する満足度

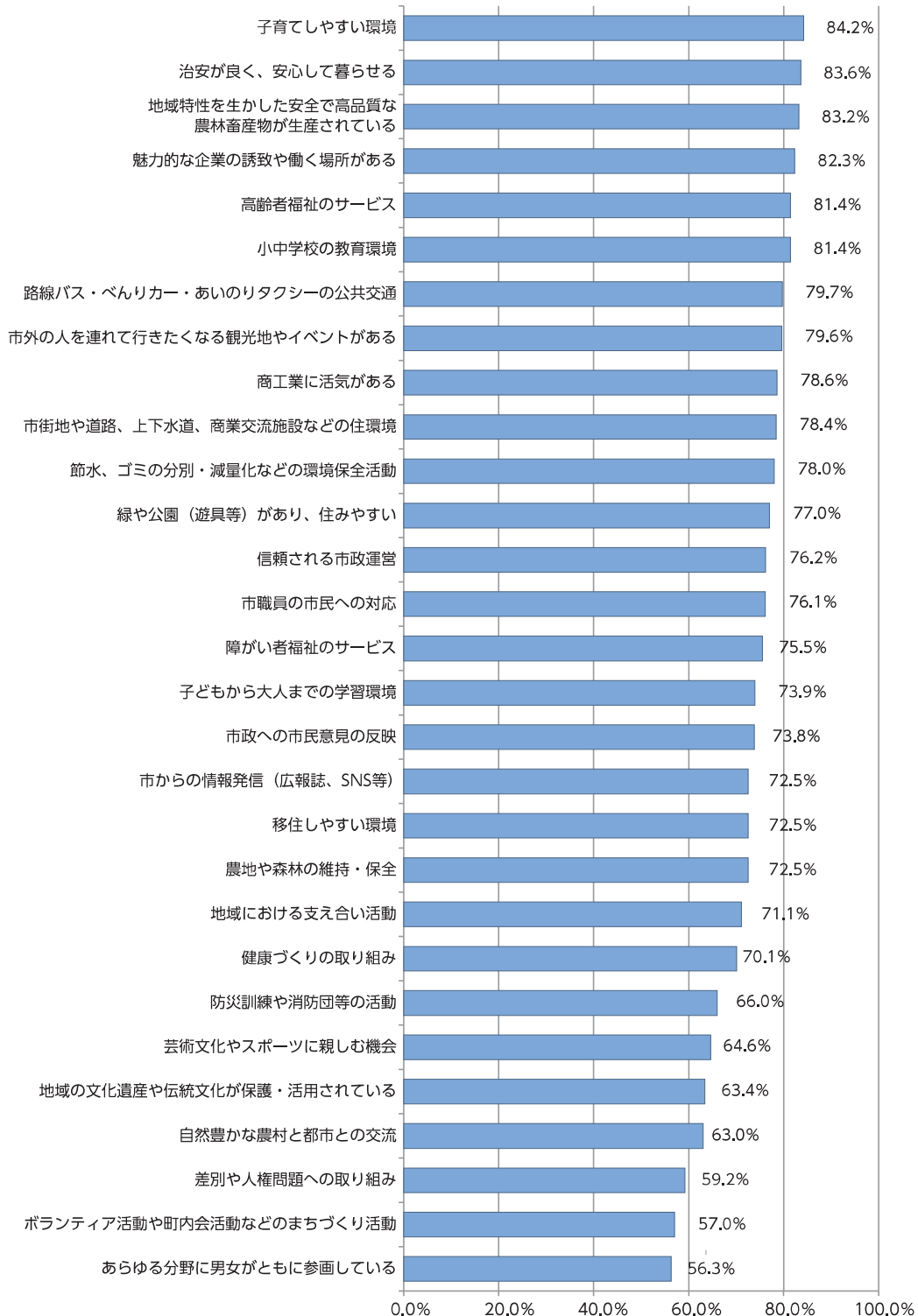


⑥市民生活やまちづくりに関する今後の重要度

市民生活やまちづくりに関する項目の今後の重要度※についてみると、「子育てしやすい環境」が84.2%と最も高く、次いで「治安が良く、安心して暮らせる」が83.6%となっています。

(※)：重要度は、各項目に対して「重要」「やや重要」と答えた人の割合より算出。

市民生活やまちづくりに関する今後の重要度



4 審議会委員名簿

	氏名	所属
1	上野 眞也	熊本大学
2	山本 隆生	菊池市区長会
3	岩根 孝明	
4	城 聡子	菊池市教育委員会
5	芹川 幸良子	
6	泉 大助	菊池市商工会
7	松野 浩一	
8	合志 和洋	菊池観光協会
9	坂田 はるみ	菊池市総合型地域スポーツクラブ
10	田中 忠彦	菊池市文化財保護委員会
11	岩根 浩二	菊池地域農業協同組合
12	工藤 清子	菊池市男女共同参画審議会
13	加来 留	菊池市社会福祉協議会
14	松永利子	菊池市食生活改善推進員協議会
15	最上大蔵	菊池青年会議所
16	緒方 誠也	菊池市防災士会
17	佐藤 満	株式会社 肥後銀行
18	増住 香織	熊本県北広域本部
19	飯塚 暁子	
20	古津 理恵	市長が認めるもの
21	山口 法子	市長が認めるもの
22	北村 聡一郎	市長が認めるもの
23	福田 政隆	一般公募
24	中里 千恵	一般公募

5 総合計画策定経過

年	氏名	所属
2020年度 (令和2年度)	8月17日～8月28日	市民アンケート調査の実施
	8月25日	第1回専門部会
	9月15日	庁内検討（庁議）
	10月7日～10月9日	各課ヒアリング
	10月25日	第1回市民ワークショップ（菊池、旭志）
	11月1日	第1回市民ワークショップ（七城、泗水）
	11月15日	第2回市民ワークショップ
	12月1日	第2回専門部会
	1月14日	第1回企画振興検討委員会
	1月25日	第1回策定審議会
	3月26日	第2回策定審議会
2021年度 (令和3年度)	4月30日	第3回専門部会
	5月10日	第2回企画振興検討委員会
	5月14日	第3回策定審議会
	7月1日	政策調整会議
	7月6日	庁内検討（庁議）
	7月12日	第4回策定審議会
	7月28日	第3回企画振興検討委員会
	9月27日	第5回策定審議会
	11月1日	第6回策定審議会
	11月10日	政策調整会議
	11月16日	庁内検討（庁議）
	11月24日	第7回策定審議会（答申）
	12月13日～1月14日	パブリックコメントの実施
	2月18日	市議会への上程

6 答 申

菊総策審第6号
令和3年11月24日

菊池市長 江頭 実 様

菊池市総合計画策定審議会
会 長 上野 眞也

第3次菊池市総合計画の策定について（答申）

令和3年1月21日付け菊企第664号にて諮問のありました第3次菊池市総合計画の策定について、市民の意見等を踏まえ総合計画策定審議会で慎重に審議を行った結果を別添のとおり「第3次菊池市総合計画 基本構想 前期基本計画(案)」として答申します。

第3次菊池市総合計画

発行：令和4年3月

菊池市役所 政策企画部 企画振興課
〒861-1392 熊本県菊池市隈府888番地

<https://www.city.kikuchi.lg.jp>

※計画書は菊池市ホームページでもご覧いただけます。

